

## 富田～日永追分コース

今回のコースは、桑名宿と四日市宿の中の、立場として栄えた「富田」から「四日市宿」を経て伊勢街道と東海道の分岐点である「日永追分」（四日市市）までとしました。

途中、旧東海道の名残としては常夜燈、一里塚、石碑が中心でしたが、ガイド担当者は沿道の寺社なども紹介しながら歩きました。途中まちかど博物館に寄り（日永うちわ）の製作過程などを聞かせて貰い、街道の歴史の一端を知ることができました。

当日は、寒さが心配されましたが、比較的穏やかな一日となり、余裕をもって歩くことができました。

参加者からは「参加してよかった」「次回も参加したい」との声をいただきました。

○ 実施日 平成24年1月28日(土)

○ 参加人員 12名

○ 距離 約10km

○ コース

近鉄富田駅（集合） → 富田一里塚 → 善教寺 → 羽津常夜燈 → 志氏神社 → 三ツ谷一里塚 → 諏訪神社 → 鈴木製薬所 → まちかど博物館（日永うちわ） → 日永神社 → 日永一里塚 → 日永追分 → 追分駅（解散）

○ 担当

中部建設協会 三重支所・桑名支所



羽津の常夜燈



三ツ谷一里塚跡